

「家庭学習MGC」実践例

鹿屋市
教育委員会

鹿屋小学校6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 教師から出された宿題をただ済ませるのではなく、「なぜ家庭学習をするのか」といった家庭学習の目的や意義を子供と共有することで、子供が主体的に家庭学習に取り組むことができるようにする。

★ 授業終末時で「振り返り」で自覚した「問い」を解決したり、追究したりすることができるように、家庭学習で「何を」「どのような方法で」取り組むのかを子供自ら計画することで、探究的な学習として取り組むことができる。

★ 単元テストの目標点に向けて、復習する必要があると考える内容、苦手意識のある内容、自信がない内容を子供自身が把握して、その内容を自分にとって定着が図ることができると思える方法で家庭学習に取り組むことによって、「学び方」を学ぶことができる。

★ 家庭学習で児童が自分の考えを事前に考えてくる予習型学習を行うことで、授業で友達の考えと比較・関連付けて考える練り上げの時間を確保することができ、多様な「見方」を獲得する深い学びにつなげることができる。

週報に載せた保護者へのお知らせ

鹿屋小学校では、自分で計画を立て、実行し、振り返って反省をよりよい活動につなげていくサイクルを回す「自己調整する学び」に取り組んでいます。そこで、週末に自分で計画を立てて家庭学習を行う「6年2組マイゴールチャレンジ」を始めています。今まで「なんとなく、やらされている」宿題から、「自分の目的をしっかりとって行う」宿題に意識を変えていこうという取組です。子供たちは自分で週末の予定を立て、計画に沿って取り組んだり修正したりしながら頑張っており、内容も「テストに向けた宅習」や「できなかった問題にもう一回挑戦する」など、何のために宿題をするのかを考えながら宿題に変わってきました。これを続けていくことで自己調整する力が身に付いていくと思います。頑張ってください。

○ MGCの取組

【小学6年生 家庭学習のMGC】

自己調整する力を高めるために、見直し・実行・振り返りのサイクルを回しながら取り組んだ家庭学習

★ポイント

- 毎週金曜日の朝の活動の10分間を用いて、今週末の宿題の計画を立てたり、何の目的のために自主学習を行うのか考えたりする。
- 家庭学習後に自分の立てた計画や学び方はどうだったか振り返りを行い、今後の学習に生かせるようにする。
- ◎ 「やらされる」宿題から、「〇〇のために宿題をする」という意識が高まってきた。
- ◎ 自分の目的に合わせた自主学習ノートになってきた。

鹿屋小6-2 家庭学習マイゴールチャレンジ①

- ① 今週末の宿題
☐日記 ☐漢字 ☐宅習・英語 ☐プリント(2)枚
☐らくらくノート()ページ ☐音読(教科書のなり立ち)
☐その他()

- ② 今週末の予定(用事・習い事・少年団 など)と宿題の予定

曜日	予定	宿題の予定(いつ、どの宿題をどれくらいするか)
金	全日	
土		プリント1枚
日	全日	

- ③ 宅習の目的と内容 《宅習に書く教科書…算数》

宅習の目的(なんのために宅習をするか)	宅習の内容(何を書くか)
<input type="checkbox"/> テストが近いからテスト勉強のために。 <input type="checkbox"/> 分からないところをできるようにするために。 <input type="checkbox"/> 「はかせ」や「まとも」「ポイント」など大切だと思っただころを覚えるために。 <input type="checkbox"/> 学習したことを定着させるために。 <input type="checkbox"/> 学習したことをいかにして予習をするために。 <input type="checkbox"/> 学習したことを他の問題にいかすために。 <input type="checkbox"/> 授業や生活の中で疑問に思ったことを問いにして、調べてまとめる。 <input type="checkbox"/> その他(プリントのやり直し)	歯ノートや教科書の「はかせ」や「まとも」「ポイント」などを読んで書く。 <input type="checkbox"/> 教科書などの練習問題に取り組む。 <input type="checkbox"/> 教科書などの発展問題に取り組む。 <input type="checkbox"/> 次の時間に学習するところをまとめて問題集を解いたりする。 <input type="checkbox"/> 授業や生活の中で疑問に思ったことを問いにして、調べてまとめる。 <input type="checkbox"/> 学んだことをいかにして実践し、それをまとめる。 <input type="checkbox"/> その他(プリントのやり直し)

- ④ 計画に沿って、宿題や宅習をしよう。

振り返り

- ⑤ 計画のふり返り
 ・自分の立てた計画の達成度 … ◎ ・ ○ ・ △ ・ ×
 ・うまくいったところ、もう少しだったところ、ここをこうしたら次はよくなる
 今回土曜日に勉強ができたので、それにテスト勉強をしたから、来週のテストを頑張りたい。

自分の取組の振り返りや、うまくいったことなどを書く。

見直し(計画)

実行

⑦ テストのために算数の問題をたくさんやってみてテストで満点をとろう。

⑧ テストのためにプリントの問題をやる。

① $1.4 \times 15 = 21$ $10 \times 11 = 110$ $6 \div 2 = 3$ $3 \div 1 = 3$

② $\frac{2}{3} \div 0.6 = \frac{2}{3} \times \frac{10}{6} = \frac{10}{9}$ $0.6 \div \frac{3}{4} = \frac{2}{5} \times \frac{4}{3} = \frac{8}{15}$

③ $\frac{3}{5} \times 0.2 = \frac{3}{5} \times \frac{2}{10} = \frac{3}{25}$ $0.4 \div \frac{4}{5} = \frac{2}{5} \times \frac{5}{4} = \frac{1}{2}$

④ $\frac{4}{5} \times 2.5 = \frac{4}{5} \times \frac{25}{10} = \frac{10}{5} = 2$

⑤ $\frac{16}{15} \div 1.4 = \frac{16}{15} \times \frac{100}{14} = \frac{200}{21}$ $0.3 \times \frac{5}{8} = \frac{3}{10} \times \frac{5}{8} = \frac{3}{16}$

⑥ $0.3 \div \frac{4}{5} = \frac{3}{10} \times \frac{5}{4} = \frac{3}{8}$ $\frac{8}{15} \times 0.3 = \frac{8}{15} \times \frac{3}{10} = \frac{8}{50} = \frac{4}{25}$

★ 小数と分数のまじったたし算やひき算は、小数または、分数たし算やひき算で計算する。小数と分数のまじったかけ算やわり算は、分数にそろえて計算します。どちらでも混ざっているときは、わる数を分数にする。

★ たくさんふくしゅうができてよかった。

⑧ わたしはよく考えてやったことにより、いつもよりスムーズにできた。

「家庭学習MGC」実践例

垂水市
教育委員会

新城小学校 3・4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 小学校6年間の最終ゴールとして、自分で家庭学習の内容を選択・決定して取り組めるよう、教師は伴走者として子供に寄り添いながら、家庭学習の取組を支援する。
- ★ 1・2年生は、教師が提示した漢字、計算、プリント等の課題に確実に取り組めるよう家庭と連携し、家庭学習の習慣化を図る(家庭学習の手引を配布・活用)。
- ★ 3年生以上は、本市で取り組んでいる予習型反転学習と関連付け、授業の内容や学習計画を基に、家庭学習の内容や量を自己選択・自己決定して取り組む。また、教師はタブレット端末を活用して、家庭学習の取組状況を把握し、子供の主体的な学びにつながる助言を行う。

令和6年度から、3年生以上で「家庭学習新城ランチボックス」システムを取り入れている。家庭学習のはたらきを「授業がよく分かる身につくはたらき」「苦手を減らすはたらき」「好きや得意を伸ばし増やすはたらき」の三つに分類している。

それぞれの働きに係る課題の例等について、年度当初に子供や保護者と共通理解を図る。教師は、子供の学びに寄り添いながら、子供が主体的に家庭学習に取り組めるよう支援している。



○ MGCの取組

【小学3・4年生 学級活動のMGC】

主体的な家庭学習とするために、内容や量を自己選択・自己決定して作成した計画表を基に取り組む家庭学習

★ポイント

- 1年間のスタートにあたり、家庭学習の内容や量を自己選択・自己決定して取り組めるよう、授業参観で、保護者に子供が家庭学習の計画を立てる様子を参観していただいた。
- この授業の導入で、教師は、各教科等の学習計画表を配布した。その際、子供に「自分の苦手を減らすはたらきの学習に取り組む必要がある教科はどれですか。そして、その理由も教えてください。」と問い掛けて、子供がどのような目標で家庭学習に取り組みたいか考え、意欲を高めた。
- 授業の展開で、タブレット端末を活用し、1週間分の家庭学習計画表を作成した。教師は、子供の計画表を参照し、一人一人に家庭学習の内容や量について助言した。
- 授業の終末で、各自が作成した家庭学習計画表を発表し、今後の家庭学習への意欲付けを図った。



家庭学習のはたらきについて教師の説明を聞く子供

マイゴール チャレンジの例

- AIドリルを活用して、家庭学習の内容と量を決め、計画的に自分の得意を伸ばすよう取り組む。
- 社会科の授業で取り組んだ調べ学習のパンフレットをよりよいものにするため、オンラインアプリを活用し、家庭でも継続して取り組む。
- 明日の授業で取り組む算数の問題を家庭で事前に解き、授業の話合い活動に自分から進んで取り組む。
- 漢字テストで間違えた苦手な漢字については、毎日時間を決めて繰り返し練習するなど苦手なことにも取り組む。

「家庭学習MGC」実践例

曾於市
教育委員会

光神小学校 3・4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- 1 学習スペースの整理整頓
- 2 集中できる環境での学習
- 3 決められた時間での自宅学習
- 4 家庭学習の見届け・励まし・声かけ
- 5 メディアの家庭のルールを守る。

- 【家庭学習を充実させるための流れ】
- PTA総会・家庭教育学級での家庭学習の効果や必要性、方法についての説明
 - 学級PTAで、担任による進捗状況の確認
 - 学級活動において子供たちが主体的に取り組む力を育成するための指導
 - 子供の日々の取組への称賛

家庭への配付資料（家庭学習・生活リズム）

ちゃれんじ週間の取組

おうちのひとと話し合って目標を立てましょう。

＜めあて＞：家で学習の目標を書きましょう。

＜家庭学習目標時間＞：家で学習時間の目標を書きましょう。（目安：10分×学年＋20分）

＜平均学習時間＞：1週間の平均学習時間（実際の学習時間の合計÷7）

健康生活リズムチェック

わたしのねる時刻

わたしのあきる時刻

我が家のメディアオフ（OFF）

テレビやゲーム、パソコン、スマホ、SNSなどを消す時間

しっかり読書はん

曲みがき

読書

家庭学習

お楽しみマーク（朝の食後や夜を過ごそう）

はれ：気分が晴れ、元気。

くもり：気分が曇り、元気がない。

あめ：つらい、なごむ。

かき曇り：イライラ、きげんが悪い。

ちゃれんじカード 2月

★ おうちのひとと話し合って、できたら○できなかつたら×、時間を書きましょう。

項目	17(A)	18(B)	19(C)	20(D)	21(E)	22(F)	23(G)
家庭学習目標時間	10分	10分	10分	10分	10分	10分	10分
睡眠時間	19:20~21:55	20:00~21:00	20:00~21:00	20:00~21:00	20:00~21:00	20:00~21:00	20:00~21:00
起床時間	6:00~6:40	6:00~6:40	6:00~6:40	6:00~6:40	6:00~6:40	6:00~6:40	6:00~6:40
学習内容	漢字の練習	算数の練習	国語の練習	英語の練習	算数の練習	国語の練習	英語の練習
読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書
健康生活リズムチェック	○	○	○	○	○	○	○
メディアオフ	○	○	○	○	○	○	○
読書	○	○	○	○	○	○	○
家庭学習	○	○	○	○	○	○	○
お楽しみマーク	○	○	○	○	○	○	○

○ MGCの取組

【小学3・4年生 国語・算数のMGC】 自走する力をつけるために、計画を立てて取り組む家庭学習

★ポイント1【NIE教育を取り入れた家庭学習】

本校は、学習者主体の学びの一つとしてNIE教育に取り組んでいる。子供たちは、新聞を読み、自分で興味のある記事や与えられたテーマに合った記事を探し、考えや感想を書くようになってきた。家庭学習でも週末に取り組む機会を増やしていく。

☆子供の変容

NIE教育を教育活動から家庭学習にも反映させたことで、新聞に興味を示す子供が増えた。また、着目する視点が子供によって違うため、自分の考えと友達のことを比較しながら思考する姿も見えてきた。

★ポイント2【宅習（自学ノート）の活用】

自学ノートの活用を図り、一日の学びを振り返りながら自分の課題や分からなさがあるのかを自覚できるようにした。自学ノートは、3年生から始められるように学校で書き方や内容を指導し、子供ができるようになった時点で家庭学習に取り入れるようにした。段階を踏まえて指導し、系統的に充実した内容につなげていくようにする。

☆子供の変容

本校は少人数のため、子供一人一人の苦手な教科や内容を宅習の個別テーマにすることもできる。子供たちも少しずつ、ノートの書き方や学習内容が分かる宅習の活用の仕方も理解してきた。与えられたプリント学習だけではなく、自分が選択できる学習は、試行錯誤しながら考え、自分の学びのための学習となっている。

※ 3年A児

漢字の部首に苦手意識があったため、教科書やドリルを参考に学習を進めた。

漢字の部首に苦手意識があったため、教科書やドリルを参考に学習を進めた。

漢字	部首	読み	意味
門	門	かた	かた
下	下	しも	しも
人	人	ひと	ひと
心	心	こころ	こころ
木	木	き	き
水	水	みづ	みづ
火	火	ひ	ひ
土	土	つち	つち
金	金	かね	かね
土	土	つち	つち
火	火	ひ	ひ
水	水	みづ	みづ
木	木	き	き
人	人	ひと	ひと
心	心	こころ	こころ
門	門	かた	かた
下	下	しも	しも
人	人	ひと	ひと
心	心	こころ	こころ
木	木	き	き
水	水	みづ	みづ
火	火	ひ	ひ
土	土	つち	つち
金	金	かね	かね

※ 4年B児

特に指示を出さずに宅習に取り組ませたが算数の割合内容に課題があることを自覚しており、その内容を自学ノートにまとめていた。図や表を使い、考えを整理できるようになっている。

① 32cmと16cmの長さのひもを2倍にする。

② 32cmと16cmの長さのひもを3倍にする。

③ 32cmと16cmの長さのひもを4倍にする。

④ 32cmと16cmの長さのひもを5倍にする。

⑤ 32cmと16cmの長さのひもを6倍にする。

⑥ 32cmと16cmの長さのひもを7倍にする。

⑦ 32cmと16cmの長さのひもを8倍にする。

⑧ 32cmと16cmの長さのひもを9倍にする。

⑨ 32cmと16cmの長さのひもを10倍にする。

⑩ 32cmと16cmの長さのひもを11倍にする。

⑪ 32cmと16cmの長さのひもを12倍にする。

⑫ 32cmと16cmの長さのひもを13倍にする。

⑬ 32cmと16cmの長さのひもを14倍にする。

⑭ 32cmと16cmの長さのひもを15倍にする。

⑮ 32cmと16cmの長さのひもを16倍にする。

⑯ 32cmと16cmの長さのひもを17倍にする。

⑰ 32cmと16cmの長さのひもを18倍にする。

⑱ 32cmと16cmの長さのひもを19倍にする。

⑲ 32cmと16cmの長さのひもを20倍にする。

「家庭学習MGC」実践例

志布志市
教育委員会

潤ヶ野小学校 5・6年



○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 自分に合った家庭学習計画を立てましょう。

★ 学校から出された課題をもとに、家庭学習の計画を立てましょう。

★ タブレットを使用する時は、「持ち帰りルール」を守って、「安全・安心・快適」に使用しましょう。

★ 補充学習に、学習支援アプリや学習者用デジタルコンテンツを活用しましょう。

★ 計画を立てて、取り組んだことは、家族や先生に見てもらいましょう。

潤ヶ野っ子 家庭学習の手引き (高学年)

志布志市立潤ヶ野小学校

- ★ 1日70分～80分勉強しましょう。
- ★ 様々なジャンルの本を読みましょう。
(親子読書の日は30分～60分本を読み、20分で親子読書カードに書くようにしましょう。)
- ★ 自主学習を自ら進んで行いましょう。
- ★ 時間は目安です。その日の学習内容によって変わります。

1 宿題をする。

- (1) 教科書を読む。
- (2) 日記を書く。
- (ア) 出来事の様子や自分の思い、考えを分かりやすく書く。
- (イ) 書き終わったら読み返して、間違えた字を書き直す。
- (3) 復習プリントをする。
- (4) 漢字練習 (とめ・はね・はらいに気を付けて丁寧に。)
- (5) ドリル (答え合わせを自分でして、間違えた所のやり直しをする。)

2 予習・復習をする。(マイゴールチャレンジタイム)

- ～自宅ノートにしましょう～
- (1) テストやプリントを整理して、間違えたところを中心にやり直しする。
 - (2) 教科書やドリル、問題集の中から見付けてやってみる。(以下は一例です。)
 - ①国語・・・言葉についてまとめたり語句調べ(辞書の活用)や漢字練習をしたりする。
 - ②算数・・・問題の解き方のポイントや公式、用語などをわかりやすくまとめる。計算練習をする。
 - ③社会・・・学習したことをイラストや表を入れてまとめたり、新聞を読んで感じたことや思ったことをまとめたりする。
 - ④理科・・・実験や観察のまとめや分かったことを図や表を入れてまとめる。
 - ⑤家庭・・・実習について事前調べや学習後のまとめをする。
 - ⑥保健・・・運動の仕方や保健の学習で学んだことを絵や図を入れてまとめる。

3 いろいろな本を読む。

- 学校や図書館から借りた本、家にある本を読む。
- ～ 目的に沿った本を読みましょう。～

宿題が終わったら

1 保護者に宿題チェック新といっしょに見せる。

2 明日の学習をする。

○ MGCの取組

【小学5年生 社会のMGC】

米作りをする人々の思いについて理解を深めるために、米を作る家族へのインタビューに取り組んだ家庭学習

★家庭学習の過程

- (1) 学校から出された課題に取り組む(音読、日記、プリント等)
- (2) マイゴールチャレンジに取り組む
 - ① あらかじめ考えていたインタビュー内容について、家族にインタビューを行う。
 - ② インタビューを行った後、さらに聴いてみたいことを質問する。
 - ③ 学習支援アプリを活用し、米作りについての知識を深める。
- (3) 学習した内容を、家族に知らせる。
- (4) 関連する本や教科書、資料を読んだり、インターネットで調べたりする。

★学校の関わり

- (1) 授業で学んだ米作りについて、疑問に思っていること、米を作っている方にさらに聞いてみたいことを考えさせる。
- (2) 学習支援アプリの該当チャプターを紹介し、必要に応じて、補充問題や動画解説を視聴するように指導する。

★保護者(祖父母を含む)の関わり

- (1) 児童からインタビューを受ける。
- (2) 見届けをする。(誉める、励ます、自信をもたせる)

★実践の様子(児童と保護者のやりとり)

児童：何時ぐらいに田んぼに行っていますか。

保護者：5時から5時半。田植えから稲刈りまでの期間は毎日行っている。

児童：米を作るのを嫌だと思ったことはありませんか。

保護者：田んぼがある家に産まれた運命だと思って頑張っている。自分の親もそうやって米を作ってきてくれた。

★成果

- 普段以上に、家庭学習に主体的に向かう姿が見られた。
- マイゴールチャレンジに取り組んだ内容は、授業での主体性も高まった。
- 保護者に関わってもらうことができ、自信がついた。

★課題

△ 保護者の関わりについて、加重負担にならないように程度を見極める必要がある。



「家庭学習MGC」実践例

大崎町
教育委員会

大崎中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 「授業」と「宿題」を区別する概念を取り払い、学校（授業）で行う学習と家庭学習を連続した一体のものとして捉える。【学習への考え方】
- ★ 授業時には、用意した課題の内容や趣旨などを十分に説明し、基礎的な内容から発展的な内容までの取組を、各生徒が「いつやるのか」「いつまでに終えて提出するのか」「この課題は自分に必要なのか」などを自ら考えて取り組むことができるようにする。そのため、授業時以外に取り組む課題を「宿題」とは呼ばない。【課題の難易度・量・回数、期限の柔軟性】
- ★ 原則としてタブレットを用いる学習課題を用意し、課題の配布や提出、添削や返却などを一元的に行う。また、授業から家庭学習まで一体として捉えた学習の状況や成果を、可視化して生徒に還元し、さらに意欲が高まるようにする。【教師の業務効率化・生徒のさらなる意欲づけ】

授業時に配布するカード（学習支援アプリ）例

必要なものをひとつのカードにまとめて提供

①教科書の確認
教科書本文を読めば解答可能な重要語句、重要文を確認する課題。

④動画の視聴
自分の進捗状況やタイミングで、繰り返し視聴可能。

教科書（歴史）p.50～51
天平文化
奈良時代の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。

授業プリント
採点後提出！

共有課題①
共有課題②

ジャンプ課題①
ジャンプ課題②
ジャンプ課題③

※このカードの元の状態を崩さないように保存すること
※見直しを持ち、家庭学習とつなげて学びを積み立てる

⑤ワーク（発展）
ワークの該当箇所を解く。

②図版、資料の確認
教科書中の資料と付随する解説などの確認を行う。

③ワーク（基本）
ワークの該当箇所を解く。

⑥復習
進捗の早い生徒や意欲のある生徒が取り組むことができる課題を用意。この時は前時までの復習内容を用意。

○ MGCの取組

【中学1年 社会科のMGC】

学びを連続させるために学校の学習も家庭学習も、自分の力で、自分のペースで取り組む学習

★ポイント（左の授業時のカード例と対応させてある。）

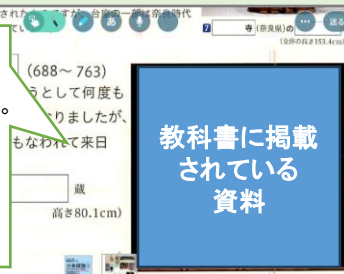
①教科書を理解

教科書本文をほぼそのまま引用した問題文。これを解くために生徒は自然と教科書を精読することが習慣化し、「教科書を傍に置いて自分で学習することができる」力につなげる。説明する力を伸ばすための文章抜粋も取り入れている。

+	8	このころは、天皇や貴族、()の力によって、	8
		【p.50～51 奈良時代の仏教】	
	9	(9 天皇)と(10 皇后)は、唐の皇帝にならって、仏教の力により、伝染病や災害などの不安から国家を守ろうと考えました。	9 天皇
	11	聖武天皇と光明皇后は、唐の皇帝にならって、()と考えました。	10 皇后
			と考えました。

②図版、資料

教科書に配置されている資料の、着目してほしい部分を空欄にした課題。何気なく眺めるのではなく、意識をもって資料に接する態度を養い、自学可能な力を養う。この資料では「鑑真」と「唐招提寺」を空欄とした。※教科書中の図版



③・⑤・⑥共有課題・ジャンプ課題

画像は、9月30日(火)の授業で与えたジャンプ課題④の提出箱の表示。この課題の締め切りは10月4日(土)の21:00とした。ノー部活デーの活用、土日のスケジュールや他の課題との兼ね合いも考えて、「いつ済ませるかを自分で考え、計画して取り組もう」と説明し、声かけしている。

2025年10月4日(土) 締切

09/30 ジャンプ②

22

生徒名

9月28日(日) 21:23

教科書に掲載されている資料

④資料（動画）

教科書中に二次元コードで用意されている動画をダウンロードして学習支援アプリで提供。いつ見るか、何回見るかを生徒自身の判断にゆだねる形にしている。

③・⑤・⑥共有課題・ジャンプ課題

画像は、9月26日の授業で与えたジャンプ課題の提出状況の表示。この課題の締切は9月28日(日)の21:00であった。この生徒は、表示の通り締切日の21:23に提出している。時間の制約や疲労などがある中で自らを律し、この時間に課題と向き合っていたことも把握できる。もちろん、締切日以前に提出した生徒も多く、中には授業中に済ませることができた生徒もいた。各自が自分のペースで課題に取り組んでいることが分かる。

「家庭学習MGC」実践例

東串良町
教育委員会

東串良中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 自主的・主体的に学ぶ姿勢を育てる。
 - 苦手教科や不得意分野など、自分でテーマや課題を決めて自主的・主体的に学習する。
- ★ 日々の学習の積み重ねを大切にすることで、学習習慣を身に付ける。
 - 毎日の継続的な取組が、学力の定着につながる。
- ★ 振り返りや自己評価を取り入れる。
 - その日の学習内容や理解度を自分で確認し、次につなげる。
- ★ 1年生90分、2年生120分、3年生150分の家庭学習を奨励。
 - 時間は目安（中学校で理解を深めるために必要な時間）であり、学習の内容や質にこだわる。

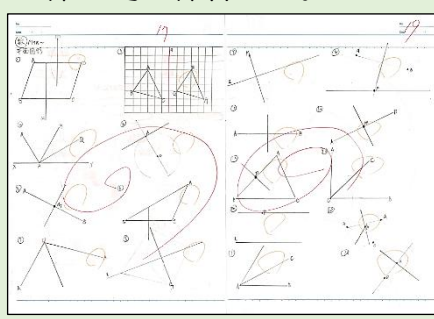
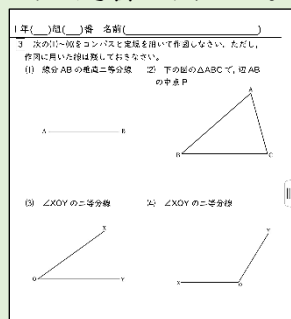
学習者主体の授業（数学科）と関連した家庭学習（自学ノート）

題 材：平面図形

内 容：角の二等分線、垂線、線分の垂直二等分線の作図
めあて：基本的な作図の方法を理解し、活用できるようになる。

★ 家庭学習用プリントを作成・配布し、基本的な作図方法の定着を図った。

★ 家庭学習（自学ノート）で基本的な作図ができるように繰り返し練習した。



○ MGCの取組

【中学1年 数学科のMGC】

基本的な計算力を高めるために、自学ノートに取り組んだ家庭学習

★ポイント

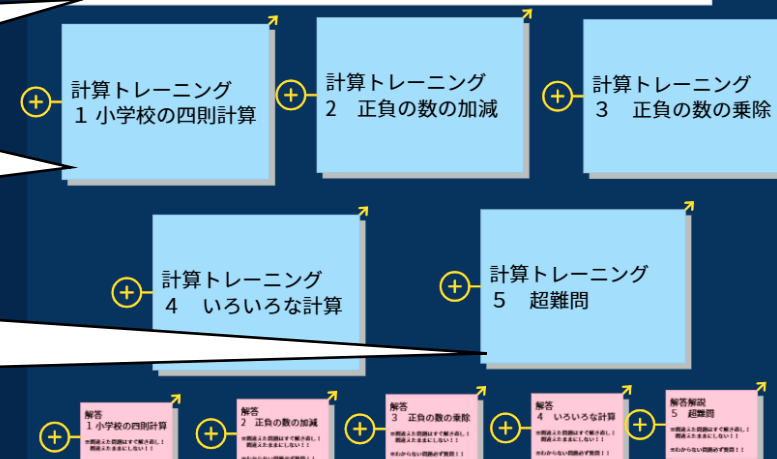
本校では全学年で自学ノートに取り組んでいる。1年生でも中学校生活に慣れてきた5月からスタートし、1週間に5ページ取り組むこととしている。特に教科の指定は行わず、自分の苦手な教科や単元、当日習った学習内容などを積極的に進めている。

チェックは担任だけでなく、学年部の職員6名で担当を決めて確認をしている。毎週金曜日には、学年主任がチェックし、うまく進められていない生徒への支援を行っている。

その中で、生徒が「何に取り組んでいいかわからない」という生徒の声から、数学科では、学習支援アプリを活用して、計算問題を配信している。

1学期は合計で大問1～44まで準備した。

計算力を伸ばそう！継続は力なり



小学校で習った計算問題もあり、苦手な生徒にも取り組みやすかった。

「超難問」と題して、難関私立高校の入試問題などを提示し、学習意欲を高める工夫をした。

生徒は、MGCの活動により、計算問題に積極的に取り組む姿が見られるようになった。学校に登校したらすぐにタブレットを起動させ、計算問題に取り組み、自学ノートを決められたページ以上に進める生徒が増加した。

5月に行った計算問題中心の単元テストでは、平均点が90点を超えるなど、確実に計算力を高めている。

「家庭学習MGC」実践例

錦江町
教育委員会

大根占小学校 6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

家庭学習のねらい ⇒ 「基礎学力の定着」と「自ら学ぶ習慣づくり」

家庭へのお願い ⇒ 「意欲」と「集中力」を高める環境づくり

★ 学習への意欲をもたせるために

- ・学習を始める時間になったらテレビのスイッチを切る。
- ・すぐに取りかけられる易しい学習から始める。
- ・できることからはじめ、途中でつまずいたり分からなかったりしたら、問題は次の日学校で質問できるようにする。

★ 学習に集中させるには

- ・おやつは学習が終わってからにする（ながら学習はさせない）。
- ・机の周りには、学習に必要なでない物を置かない。
- ・時計を利用する。「正しく」「早く」「丁寧に」をめあてにする。
- ・「始まり」の時刻を守らせる。

年度初めに子供に説明する手引（R7年4月）

錦江町立大根占小学校

家庭学習の手引き（高学年）

- 【学習時間のめやす】
- ☆ 5年生・・・70分 6年生・・・80分
 - ※ 中学校では、最低2時間の家庭での学習時間が必要になります。徐々に時間を増やしていきます。

- 【ポイント】
- 1 学習しやすい環境をつくりましょう。
 - テレビを見ない。
 - 学習用具の整理整頓に心がける。
 - 規則正しい生活をしましょう。
 - 早寝・早起きをする。
 - 前日に学習用具や学習時間をそろえる。
 - 学習のし始めとおわりのしぐさを話合せてきめましょう。
 - 2 規則正しい生活をしましょう。
 - よい姿勢でする。
 - 就寝時間の目安（時 分）
 - 朝食は必ず食べる。
 - テレビを見る時間を決める。
 - 3 学習のし始めとおわりのしぐさを話合せてきめましょう。
 - 学習のし始めとおわりのしぐさを話合せてきめましょう。
 - 学習のし始めとおわりのしぐさを話合せてきめましょう。

家庭では励ましと称賛を

- ☆ 子どものがんばりを認め、励ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見届けをしてください。



「よくがんばったね！」
「一生懸命頑張ったね。」
「今日は字が丁寧だね。」など

○ MGCの取組

【小学6年 算数科のMGC】

確実な理解にとするために、「めあて」を立てて取り組んだ家庭学習

★ポイント

その日の宅習における「めあて」（MG）を設定し目的意識をもって家庭学習に取り組んでいる。

○ 単元テストで間違えた問題を家庭学習で復習し、確実に理解しようとしている児童の例

宅 習

めあて
5年生と組む合戦のテストの復習をしよう。

① 大くやさん、みずきさん、しんさんの3人でリレーをします。3人の走る順番について考えましょう。

(1) 3人の走る順番を調べるために、右のよう表を作りまし。あいているところにも前を書いて、表を完成させましょう。

(2) しんさんが1番目に走るときは、はらびは全部で何通り（2通り）

(3) 走る順番は全部で何通り（6通り）

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ のカードが1枚ずつあり、この4枚のカードから3枚を選び、3けたの整数を作ります。

〈9の位〉 〈十の位〉 〈一の位〉

⑧ 3けたの整数は何通り（24通り）

まとめ
5年生と組む合戦のテストの復習ができた。

宅習の「めあて」(マイゴール)を設定することで、目的意識をもって取り組むことができる。

単元テストで間違えた問題に再チャレンジすることで、なぜ間違えてしまったのかを再確認するとともに、確実に定着できるようにする。

図や表もしっかり描くことで確実な定着につながっている。

「まとめ」で、マイゴールを達成できたかを振り返ることで自己分析ができている。

「家庭学習MGC」実践例

南大隅町教育委員会

神山小学校 5年

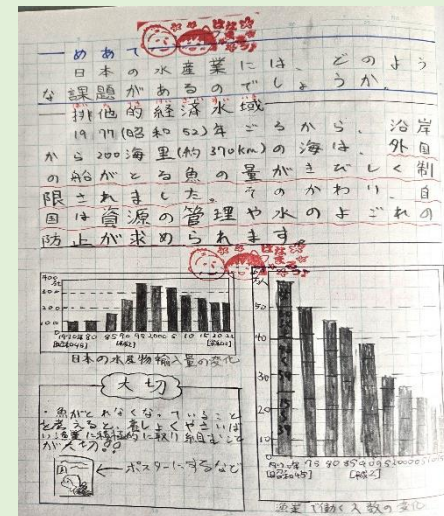
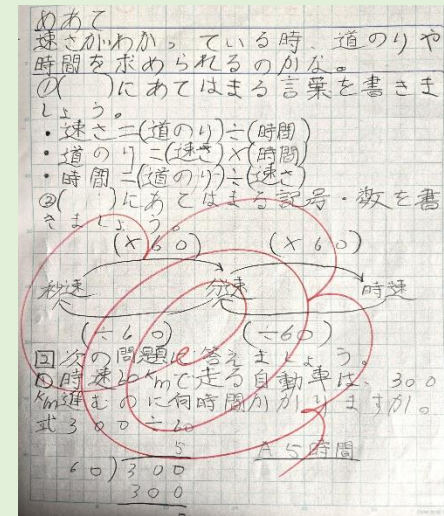
○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 各学年の平均的な学習時間の設定
【1年30分 2年40分 3年50分
4年60分 5年70分 6年90分】
- ★ 学校で、音読カードを作成する。学習後に保護者の見届け及びサインをもらい、毎日提出する。
- ★ 今日、学習したことの復習を基本的に行う。

○ MGCの取組

【小学5年生のMGC】

今日学習した内容を思い出し、定着を図るために、アクティブリコール(思い出す活動)学習に取り組む家庭学習



- 宿題(学校から指示された課題)をやり遂げたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。
- 授業で分からなかった問題を解いて、今日学習した事を思い出す活動をする。
- 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自主学習ノート」にまとめる。
- 家庭学習に余裕があれば、次の授業で学習する内容を予習してみる。
- 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。
 - ・ 国語の時間に学習した教科書教材とテーマが同じ本を読んでみる。
 - ・ 体育の時間に学習した運動を取り入れた体力づくりを家庭で実践してみる。
- 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、探究してみる。

「家庭学習MGC」実践例

肝付町
教育委員会

岸良学園 後期課程

○ 家庭学習の基本的な考え方

- 1 セルフマネジメントとして週単位等で家庭学習の計画を立てる。(主体的思考)
【学習者主体の授業との関連：子供が自ら問いを発見する】
- 2 AIドリルを中心とした家庭学習に取り組む。(ICTの活用)
【学習者主体の授業との関連：子供が解決の方法を見通す】
- 3 新たな問いを探究し、進路や生き方につながる振り返りを行う。(自己実現)
【学習者主体の授業との関連：子供が自らの学びを振り返り、次に生かす。】

1 セルフマネジメント⇒「自己成長を促す教育用手帳(スケジュール帳)」の導入

- (1) 毎日の計画・持ち物・提出物を自己管理し自己調整力を育成する。
- (2) 週毎に勉強・部活等の計画や目標、具体策を記入する。
- (3) 週末の振り返りを翌週への目標設定につなげることで、Plan-Do-Check-Actionが行いやすい。



2 AIドリルの活用

- (1) 学習eポータル+AI型教材は、児童・生徒一人一人の習熟度に合わせて最適な問題を出題するアダプティブラーニング教材である。
- (2) 授業の学びを個別最適に理解・定着でき、授業の進度に応じた予習復習に活用できる。
- (3) 授業・家庭学習において一貫した学習が可能になる。



○ MGCの取組

【岸良学園後期課程9年生のMGC】

「自分で学ぶ力」を身に付けるために、スケジュール帳とAIドリルを活用した家庭学習

- 1 「自己成長を促す教育用手帳(スケジュール帳)」を活用する中で、自ら学習や部活動等の目標を設定したり、年・月・週単位の計画を立てたりしながら主体的に考え行動する。
自分の気持ちや行動をコントロールさせることで、自己調整能力の向上をねらいとする。

目標設定

今年の展望を広げてみよう	
目標を立てよう	やることを考えよう
勉強・成績	苦手な科目を克服する。勉強をコツコツやる。
部活	総体で1勝。毎日の練習を一生懸命頑張る。戦略を考える。

スケジュールリング



2 「AIドリル」を活用した「マイゴールチャレンジ」

- (1) 今日の授業で学習したことを復習し、自分の学習や取組を振り返りながら、AIドリルの設定(内容設定や時間設定等)をすることができる。
- (2) 学習内容の定着が自分で即座に分かるため、学習内容等をもう一度整理したり、練習問題や発展問題に自らの意志で取り組んだりすることができる。
- (3) 学習が終わったら、その日の取組の内容や方法を即座に振り返ったり、家族や先生、友達と共有・相談したりして、翌日の授業や家庭学習につなげる。

